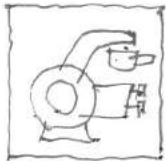


= ツォ・ポントィ =  
 建築家・画家・イラストレーター・編集者

《イタリアモダンデザインの父》  
 《大長老》

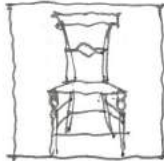
- 1921 ミラノ工科大学卒
- 1923 リチャード・ツツリ アートディレクター/デザイナー
- 1928 雑誌「ドムス」創刊
- 1936 ミラノ工科大学教授
- 1954 コンパッソ・ドーロ賞創設

「工業とは20世紀の様式であり、創造の流儀である」 <sup>ポントィ談</sup>



コーヒャー・カ  
 ナ・コルヌータ  
 1948

オ2次世界大戦後  
 イタリアは、小さけ  
 のま、小規模な  
 家内工業と安  
 労働力に、長に  
 躍進した。



キャバリアの椅子

1800年頃より、ミ  
 バ近郊の港町  
 キャバリアで作られていた椅子が、原形。  
 企業制により量産体制で、1870年頃  
 には、年間2万000脚を製造

小規模な企業  
 だけにフレキシブル  
 に新しい事に  
 チャレンジした。



646 1951  
 レッジーナ

50年代の復興需要のおかげで、カッシーナ社は  
 量産家具メーカーへシフト。外部デザイナー  
 として初めてツォ・ポントィを起用  
 1951年にキャバリアの椅子をモデルに、  
 「646 レッジーナ」を発表。5年後の1957年に

50年代のイタリアの家具メーカー

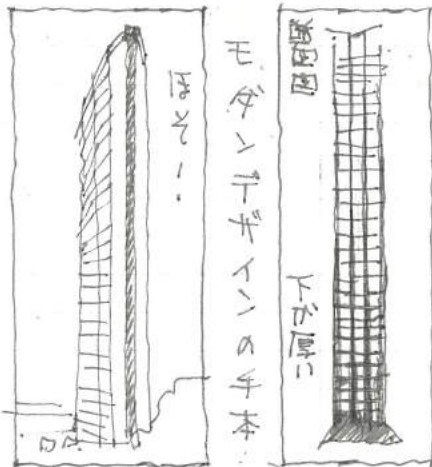
- ・ポルチロチ・フランチ (12)
- ・カッシーナ (27)
- ・モルテニ (34)
- ・カッポリーニ (46)
- ・カルティル (49)
- ・アルフレッドス (51)
- ・テグノ (53)
- ・ザッッタ (54)



699 スーパー・レッジーナ 1957

改良を加えた  
 「699 スーパー・レッジーナ」  
 を発表。

- ↓
- ・アッシュ材 (1x10x7cm)  
 ねじりのある材種
- ・又木の数・位置はキャバリア  
 と同様。
- ・脚先端の断面形を  
 18mmの三角材にギリ型に
- ・重さ・おさが1.7kg
- ・「和」を感じませんか?



ミラノ階への高層エレベーターの  
 テーブル・レイアウトと構造的

「本当は象牙でつくったからたのびたか?」

ポントィ・カッシーナ談

陣身の  
 一撃系  
 家具

- ・柳宗理 : バタフライ
- ・コレット・ジュエ : LCツーズ (おさが1年で全部朽ちた)
- ・バルトイア : バルトイアチェア (その後家具界の神)
- ・ツォ・ポントィ : スーパー・レッジーナ (椅子はこれだけ)

みんなの椅子 / ムサビのデザイン VII

20220212  
 20220218  
 20220404

7/17/2024